



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.9 (162)

2017.9.25

「長月」に入り、急に涼しくなって参りました。今年の残暑は穏やかで過ごしやすい感じです。いよいよ「秋本番」へ向かいます。「遊」と「学」の境地を目指して張りきって進みましょう。

1 統計関連学会連合大会が以下の次第で開催されました[敬称略]。

日時：2017年9月3日(日) -6日(水)

会場：南山大学 名古屋キャンパス

9月5日(火)に「企画セッション」がもたれ、先般に本研究会の特定主題シンポジウム「日常における医学統計学とその実践の諸問題」で論じられた「p値の信頼性(妥当性)とその議論」(組織者：渡辺敏彦・松井秀俊)がとりあげられました。プログラムは以下のとおりです。

座長：柴田義貞 指定討論：後藤昌司

- ・ p 値に関する最近の議論 池田敏広
- ・ p 値と仮説検定：どう教えればよいか 坂本 亘
- ・ 確率変数としての p 値の挙動 河合統介
- ・ メタ分析 p 値とその挙動について 杉本知之
- ・ 生成量と研究仮説が正しい確率—ポスト p 値時代の統計学— 豊田秀樹

2 秋季セミナー鹿児島2017が、以下の次第で開催されました [敬称略]。

日時：2017年9月16日(土) 9時30分～16時55分

会場：鹿児島大学 共通教育棟一号館 2階124号

組織者：米山昭成・杉本知之・勘場 貢

プログラム：

開会挨拶：後藤昌司(医学統計研究会)

座長：勘場 貢(株新日本科学 PPD)

〈セッション1〉

- ・ 線形・非線形における多変量解析の概要と今後の研究に向けて

山口明日美(株新日本科学 PPD)

- ・ Split-mouth design におけるランダム化方法の性能定量化及び比較

村中健太(株新日本科学 PPD)

- ・ MCMC による Mantel-Haenszel 正確検定

水間浩太郎(大阪大学)

〈セッション2〉

座長：藤澤正樹(あすか製薬株)

- ・ セミ競合リスクのもとでの生存時間データの比較

上田一輝(鹿児島大学)

- ・ クラス情報が所与の際の相関行列に対する低ランク近似について

谷岡健資(和歌山医科大学)

- ・ 血中濃度曲線の分解と解釈

米山昭成(株新日本科学 PPD)

〈セッション3〉

座長：松原義弘(医学統計研究会)

- ・ 多変量データの順序付け—多変量 2 標本問題への適用について—

- 吹谷芳博 (あすか製薬株)・松原義弘 (医学統計研究会)
- 折れ線のあてはめによる直線性の検討 尾崎寿昭 (小野薬品工業株)
- 医学研究におけるベキ変換の応用 丸尾和司 (筑波大学)
- 〈セッション4〉 座長：越智義道 (大分大学)
- データ駆動型サブグループ解析の方法 下川敏雄 (和歌山医科大学)
- R のパッケージ群 tidyverse による経時データの操作と視覚化 坂本 亘 (岡山大学)
- メタ分析 p 値とその挙動について 杉本知之 (鹿児島大学)
- ネットワーク・メタ・アナリシスと間接比較のエビデンスの評価 野間久史 (統計数理研究所)
- 閉会挨拶：藤崎恒晏 (医学統計研究会)

課題検討会は「八州」で開かれ、22名の方々が参加されました。台風18号の「気まま」な接近の経過の中で、乱れとぶ外部情報により、参加者の方々には、難渋を強いることになりました。また、18日にかけて台風18号への過大なJRの対策で大幅なダイヤの乱れでご帰還が遅くなられた方々が多数おられたことと存じます。このような事象にもめげず、今後とも秋季セミナーを盛り上げていていただくと幸いです。本セミナーをお世話いただいた杉本知之、米山昭成、梅田佳史、勘場 貢の諸氏をはじめ、鹿児島大学理学部、新日本科学PPDのお仲間の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。





－秋季セミナー鹿児島 2017 でのひとこま－

③ 定例シンポジウム2017「医療で必要とされる統計的基礎知識」を以下の次第で開催いたします
 [敬称略]. 既にホームページにて参加申込みの受付を開始いたしております. 多くの方々のご
 参加をお待ちしています.

日時：2017年10月28日（土）10時～17時

会場：ファイザー(株) 会議室

プログラム：

相関と回帰の基礎知識.

生存時間データ解析の基礎.

ネットワーク・メタ・アナリシスの基本的な考え方.

丸尾和司（筑波大学）

藤井陽介（ファイザー(株)）

データの視覚化。 山口祐介 (アステラス製薬株)
 リアルワールドデータの医薬品開発への活用。 田澤 司 (株)パーキンエルマージャパン)
 Bayes流接近法の基礎と臨床研究への応用。 中村正樹 (MDV株)
平川晃弘 (東京大学)

4 定例研究会[東京]・定例会[大阪]2017-11-15 を以下の次第で開催されます。日本計算機統計学会・第31回シンポジウムの前日の開催です。ご注意ください。

日時：2017年11月15日 (水)
 会場：和歌山県立医科大学

5 今後の予定を以下にお知らせいたします。

(1) 大分統計談話会・第56回大会が以下の次第で開催されます。最近の話題としてその必要性和重要性が喚起されています。多くの方々のご参加を期待しています。

日時：2017年10月12日 (木) - 13日 (金)。
 会場：富士通大分システムラボラトリ 2F AVホール
 プログラムは既にホームページに掲載されています。

(2) 恒例のウィンター・フォーラム2017が以下の次第で開催されます。多くの方々にご参加いただくため、会場の設営を勘案しています。今後の予定に書き留め、ご参加いただくようお願いいたします。

①研究・活動報告会

日時：2017年12月2日 (土) 9:30~17:30
 会場：豊中市中央公民館 講座室
 住所：大阪府豊中市曾根東町3-7-3
 電話：06-6866-0555

②納会

日時：2017年12月2日 (土) 18:00~21:00
 会場：「順平」



編集後記: 天災(災難)は忘れた頃にやってくるというのは、ほんとだっけいそうである。「秋季セミナー鹿兒島2017」が9月16日(土)に開催された。台風18号がその3日ほど前から発生し、「ゆっくり」と鹿兒島へ向かっていたが、我々の「運」の強さで「台風も逸れてくれる」と祈りにも近い思いでいた。珍しく、台風18号の歩みは遅く、当初の予報よりも大幅に遅れて、9月17日(日)の昼頃に鹿兒島を通過し、四国方面へ上っていった。JRの過重な「安全」態勢に寄るのか、9月16日(土)の17時頃から17日(日)18時頃まで鹿兒島中央駅でJR全線を止めるといった「対策」のためで、多くの仲間が影響を受けた:

(1) KMさんは、急遽 課題研究会の参加を止め、9月16日の17時過ぎのJRで串木野へ帰還したが、全く何も起らず、平常時と変わらなかったようである。(2) MKさんは、東京へ戻るため、急遽 鹿兒島空港へ向かったが、東京便が飛ばず、懇親会場へ戻ってきた。ただし、明るる日も飛行機が飛ばないかどうかは不明のままであった。.....名和田 潜

Newsletter 編集: 後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・池田敏広
 連絡先: 医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚・吉川隆範]
 〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号
 Tel & Fax: 06-6835-8790 / email: bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニュースレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。